

令和4年第10回東浦町教育委員会定例会会議録

開催日 令和4年10月20日(木)  
場所 東浦町勤労福祉会館 会議室2

出席者の氏名

教育長	庄子 亨	職務代理者	浅田 謙司
委員	杉浦 政代	委員	水野 善久
委員	中村 希代美		

出席職員の氏名

教育部長	学校教育課長	生涯学習課長	スポーツ課長
学校教育課主幹兼指導主事	学校教育課統括課長補佐兼指導主事	学校教育課庶務係長	学校教育課主査

傍聴者 1名

会議

開会 午後1時15分

あいさつ

(教育長) 朝夕寒くなってまいりました。健康にはお気を付けいただきたいと思います。

町内では昨日コロナの感染者がようやく0人となりました。第8波とインフルエンザの流行が重なることも懸念されます。本日の校長会では、落ち着いてきた時だからこそ、今のうちに対策を考えておくようお願いしました。保育園も含め、コロナで重症化した子どもがおらず、何より安心しております。

これから中学校は入試シーズンに向かっていきます。また、小中学校の人事も検討されます。水野委員が会長を務める知多地方教育事務協議会が、知多教育事務所に依頼をして、立案することになっております。

本日もよろしく願いいたします。

(教育長) 出席者5名を確認し、会議の成立を確認します。

日程第1 令和4年第9回定例会会議録承認

日程第2 議案第34号 令和4年度（対象年度：令和3年度）東浦町教育委員会事務点検・評価報告書について

（教育長） 議案第34号の説明を求めます。  
（学校教育課長） 議案第34号「令和4年度（対象年度：令和3年度）東浦町教育委員会事務点検・評価報告書について」を説明。

（教育長） 質疑を求めます。  
（杉浦委員） 特別支援教育事業は拡大の方向ですが、フォローが必要な子どもたちの現状を教えてください。また、子どものスポーツ教室の縮小が気になります。

（事務局） 特別支援教育ですが、支援が必要な子どもが就学する際には、障がい種に応じてクラス分けをするため、該当の障がい種が1名であっても、クラスを新設します。また、特別支援学級の定員は8名ですので、8名を超える場合は2クラスに分かれます。そのようなクラスの増加、また、特別支援学級を検討しながらも通常学級を希望される場合があり、1，2年生を中心に支援員の増員が必要になっています。令和4年度は全体で39名の支援員が配置されています。

2年前までは、体育館で町全体での特別支援学級の交流会を行っていましたが、今年度は、特別支援学級に在籍している児童生徒の人数が40名増加し、150名となったため、中学校区ごとの交流会に変更しました。このように、特別支援学級の児童生徒は増加傾向にあるため、今後も事業費は拡大していくのではないかと考えられます。

また、現在本町での該当者はいませんが、医療的ケア児も増加傾向にあり、今後は病弱学級新設の可能性も視野に入れる必要があります。その場合は、障がい支援課や障害者相談支援センターと連携しながら、学校に訪問看護の看護師に来てもらい、処置をしながら通学してもらうこととなります。

（事務局） スポーツ教室縮小ですが、今回の縮小は大人向けのスポーツ教室で、健康課の事業や地域のスポーツ講座の似通った内容のものを縮小しました。子ども向けの教室は縮小していません。

（浅田委員） 4ページ学生ボランティアについてですが、東浦町は学生ボランティア受け入れの歴史が長く、今年の夏休みに行われたわくわく算数では、子どもたちも学生も多数来ていました。予算も若干増えているようですが、遠方から来る学生のためにも、交通費等

が負担にならないようにしていただけたらと思います。

また、東浦町は通常学級で個別の支援が必要な発達障害傾向の子どもたちの支援が行き届いているように思います。不登校に関しても、ふれあい教室に通う人数は、絶対数としては少ないですが、救われている子もいるのだと感じます。

最後に、37 ページに「コロナで地域の祭礼が中止」とありますが、工夫して事業を実施した例もあるということで、どのように実施したのか教えてください。

( 事務局 ) 学生ボランティアには、1回あたり 1,000 円の図書カードを謝礼としてお渡ししており、月 20,000 円を上限としています。本町はコーディネーターがおり、学生に最新の教育事情や、学習支援のアドバイスをする学習会を年 1 回開催しています。そういったサポートがあるおかげで、東浦町でボランティアをしてくれる学生は多くいます。学生ボランティアは学校現場からも歓迎されるので、本町のみならず、他市町も学生の勧誘をしています。東浦町は実績が多くありますし、他市町からの参観が多い緒川小学校で声掛けをするなどして、できるだけ多くの学生に参加してもらえるよう働きかけていきます。

( 事務局 ) 不登校の児童生徒の支援に関してですが、9 月末までの学校からの報告をみると、いじめに比べて、不登校の件数は増えていきます。年間 30 日以上欠席で「不登校」に該当するのですが、31~40 日くらいの欠席日数の児童生徒の割合が増加している印象です。子どもと親の相談員の相談件数が減少しているのですが、ニーズは多いです。各学校において、問題を抱えている家庭に、スクールソーシャルワーカーの存在の周知を図り、1 人でも欠席日数 30 日を超えさせない取り組みが、不登校人数の増加をくい止めることができるのではないかと考えています。また、なかなか外に出られない子どもたちが、そのきっかけとして、親御さんと一緒に相談に訪れることができればと思います。相談受付が平日の午前 9 時から午後 5 時までという中で、学校に通っている子どもたちが相談しにくいという現状があるので、工夫が必要かもしれません。

( 事務局 ) 現在来年度の予算作成時期で、予算措置が必要な以上 2 件については、少なくとも予算減額とならないための予算案にしなければいけないと考えています。

( 事務局 ) 祭礼が中止になった地域の中には、祭礼は行わないが、子どもたちを集めて太鼓の叩き方を教える等の方法で伝承を行ったと

- ころもありました。
- ( 教 育 長 ) 他に質疑を求めます。  
《質疑なし》
- ( 教 育 長 ) 質疑がございませんので、議案第 34 号について採決します。  
異議のある委員の発言を求めます。  
《全員異議なし》
- ( 教 育 長 ) 議案第 34 号「令和 4 年度（対象年度：令和 3 年度）東浦町教育委員会事務点検・評価報告書について」は原案のとおり承認いたします。

日程第 3 教育長報告（令和 4 年 9 ・ 10 月）

【日 付】	【報 告 内 容】
9 月 21 日 (水)	学校経営会議
9 月 22 日 (木) ( 教 育 長 )	愛知県教育委員会特別支援訪問（卯ノ里小学校・北部中学校） 愛知県教育委員会から 2 名指導主事がおみえになり、午前に卯ノ里小学校、午後に北部中学校で、通級や、特別支援学級の授業を参観し、アドバイスをいただきました。また、町全体の特別支援教育についてもアドバイスをいただきました。
9 月 26 日 (月)	議会最終日
9 月 28 日 (水)	行政経営会議 ネーミングライツ締結
9 月 29 日 (木)	教務主任会議
10 月 3 日 (月)	学校訪問（石浜西小学校）
10 月 4 日 (火)	コミュニティスクール打合せ
10 月 5 日 (水)	知多地方教育事務協議会 TRC 来庁
10 月 6 日 (木)	卒業バイキング打合せ 日本福祉大学付属高校報告
10 月 8 日 (土)	駅伝選考会
10 月 11 日 (火)	教頭会議
10 月 13 日 (木)	学校訪問（生路小学校）
10 月 14 日 (水)	駅伝打合せ
10 月 17 日 (月)	五町教育長会
10 月 20 日 (木)	戦没者追悼式 第 10 回教育委員会定例会

日程第4 教育委員報告 学校訪問（石浜西小学校）

（浅田委員） 10月3日（月）に石浜西小学校へ学校訪問に行きまいりました。現職教育のテーマを「互いの考えを共感的・発展的に聞き合う」として行いました。「聞き合う」というのは良いキャッチフレーズであると思いました。実際に公開授業や特設授業は国語や道徳の授業が主で、子どもたちが地道に先生方の指導をよく聞き、成長している様子を見てきました。特に印象に残ったのは、3点です。1点目は、礼儀正しく姿勢良くという当たり前のことがきちんとできていることです。自習の態度も素晴らしかったです。日頃の生活習慣がきちんとできている表れであると思います。2点目は、話し合い、聞き合いのために、自分の考えをもたせるような指導がされている点です。前の授業での各々の考えを背面黒板に付箋で貼り出してあり、考えを見える化し、授業のつながりを感じられる工夫がされていました。3点目は、先生方と子ども達の間関係が非常に良かったということです。授業内のフリートークの中で意見が飛び交い、良い不規則発言が生まれ、先生がそれを取り上げて展開するような姿が印象的でした。

校長先生の厳しい中にも温かいスタイルが他の先生方にも浸透していると感じました。

教育委員報告 学校訪問（森岡小学校（9月）・生路小学校）

（中村委員） 9月13日（火）に森岡小学校へ伺いました。

小高い丘の上に建っている森岡小学校は、勝手にセレブなイメージをもっていましたが、昭和感のある教室に驚きました。

職員室にはもう机を置くことができず、体育倉庫も町内一狭いと伺い、大変なご苦労があるようでした。

私がいいなと思ったのは、校長先生が、先生方のことをきちんと把握されているところです。また、森岡小学校が、学校訪問直前に先生方が大勢体調不良で出勤できず、大変な時期を、教育委員会に助けを求めて乗り切ったそうで、助けを求めることができる大切さ、また、そんな校長先生を見ているからこそ、先生や子ども達も、自然と助け合う姿が見られたのだと思います。

10月13日（木）の生路小学校では、教室の扉がフルオープンになり、開放感がありました。生路小学校で一番印象的だったのは、先生方の肯定力です。予測しなかった意見も決して否定しな

いので、子ども達も発言することに臆していないと感じました。グループ発表の際でも、誰が発表を行うかのじゃんけんは、発表をやりたい子が多く、じゃんけんに勝った人でした。

また、先生方が、子どもたちの特性をつかんで、やる気スイッチを押すワードを持っていました。それぞれの学校にそれぞれいいところがあると感じました。

日程第5 報告第21号 令和4年第3回東浦町議会定例会における一般質問及び回答について

( 教 育 長 ) 報告第21号の説明を求めます。

( 教 育 部 長 ) 報告第21号「令和4年第3回東浦町議会定例会における一般質問及び回答について」を説明。

( 教 育 長 ) 質疑を求めます。

( 杉 浦 委 員 ) 脱衣を伴う健康診断について教えてください。

( 事 務 局 ) まず、脱衣を伴う健康診断を行うに至った経緯ですが、学校医からそのようにやっていくべきという意見があったからです。理由は、健康状態を正確に診断する必要があるということと、他団体に、実施しなかったために病気の発見が遅れたと考えられ、裁判になった例があるためです。県内では春日井市が実施済みです。実施形態としては、健診を受けるときも、服を着脱するときも、一人ずつにします。いろいろとご意見もいただいておりますが、我々としては、必要性を説明して理解を求めていきます。ただし、最終的には任意ですので、拒否する権利も認めています。

( 杉 浦 委 員 ) 保育園児でさえ、上半身裸になることに抵抗がある場合があります。同性の医師に診ていただくことはできますか。

( 事 務 局 ) 全児童生徒が同性医師に診てもらうことは難しいです。

( 浅 田 委 員 ) 多忙化対策についてですが、GIGA スクール構想で負担が増えていないか心配です。サポートはされていますか。また、小学校の教科担任制について教えてください。

( 事 務 局 ) GIGA スクール構想の負担についてですが、授業支援ソフトの研修等で時間を割いてもらうことはありますが、こちらは希望者のみですし、研修により、教材研究の時間が削減できることもありますので、受講者はトータルで見ると業務が削減できているのではないかと感じます。

( 事 務 局 ) 年配の先生方にとっては、タブレットの扱いに苦慮している方もいらっしゃると思います。結果、若い先生に負担がかかっていること

も事実です。以前手書きからデータへの変換期の際はとても苦労しましたが、現在では当たり前のことになっています。現在の過渡期がいずれ当たり前になったとき、より時間短縮、質の高い授業の提供が実現できるのではないかと考えています。

小学校の教科担任制については、根本的に人員補充が前提です。中学校のイメージとは違い、小学校の全教科担任が行う負担を考えると、例えば、互いの専科の授業を担当同士が補い合うといった方法は考えられます。

(杉浦委員) 若い先生に負担がかかっているという話がありましたが、ICTを専門としている職員の配置については検討されていますか。

(事務局) 本町ではそういったサポートは電話対応となっているので、機動性に欠ける部分はあるかと思います。話題としては上がっているので、少しでもそういった支援があるといいなと思います。

(教育長) 他に質疑を求めます。

《質疑なし》

#### 日程第6 各課報告 (令和4年10月・11月・その他)

(教育長) 事務局より説明を求めます。

(各課長) 各課報告について説明。

(教育長) 質疑を求めます。

(杉浦委員) 10月18日の学校部活動の地域移行検討会では進展はありましたか。

(事務局) 9月に小学校5,6年生及び中学校1年生と、その保護者を対象にアンケートを実施しました。町営クラブ参加の可否については半々といった印象です。11月には協議会で方針を決定していきます、令和5年9月の実施を目指しています。

(事務局) まだ愛知県の決定を待っている部分もあり、最終的にはその結果をもって結論を出す必要があります。例えば大会の参加資格については、現在の学校単位のみから、クラブチームも参加可となりますが、両方での参加は不可であったり、複数校で1チームを編成することが可能になったり、そのあたりのルール作りが決定されていません。そういった中で簡単なアンケートを実施しているので、まだ抽象的な質問しかできず、検討を重ねていかなければなりません。

(水野委員) 監督者は教員でなくても良いということですね。

(事務局) まだはっきりしていません。これまで教員以外の監督が認めら

れていた競技に関しては従来通りということしか申し上げられません。

令和5年9月というのは、現在のチームが郡大会を終える時期ですので、新チームから新体制に変わるということになります。

( 教 育 長 ) 他に質疑を求めます。

《質疑なし》

閉 会 午後2時35分

会議録作成者 教育委員会事務局

令和4年第10回東浦町教育委員会定例会会議録承認署名

令和4年11月17日(木)

署名

・ 庄子亨

・ 水野善久

・ 杉浦政代

・ 浅田謙司

・ 中村希代美